



<報道関係各位>

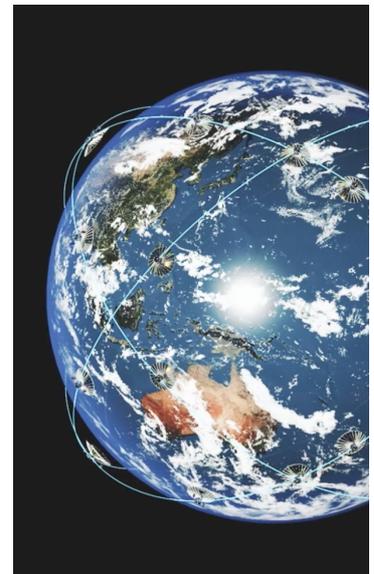
2022年2月8日  
株式会社 QPS 研究所

**QPS 研究所はシリーズ B セカンドクローズで  
追加約 10.5 億円の資金調達を実施  
シリーズ B は総額で 49 億、これまでに調達した累積調達額は 82.5 億円へ**

世界トップレベルの 100kg 級小型 SAR(合成開口レーダー)衛星の開発・運用を行う株式会社 QPS 研究所(本社:福岡市中央区、代表取締役社長 CEO:大西俊輔、以下 QPS 研究所)は、2021 年 12 月 9 日に公表したシリーズ B ラウンド ファーストクローズに続き、スパークス・アセット・マネジメント株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:阿部修平)を運営者とする「未来創生 3 号ファンド」、SMBC日興証券株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長(CEO):近藤雄一郎)、みずほキャピタル株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:大町祐輔)が運営する「みずほ成長支援第 4 号投資事業有限責任組合」、山口キャピタル株式会社(本社:山口県山口市、代表取締役:古堂達也)が運営する「UNICORN 2 号ファンド投資事業有限責任組合」、大分ベンチャーキャピタル株式会社(本社:大分県大分市、代表取締役:渡邊剛之)が運営する「おおいた中小企業成長ファンド投資事業有限責任組合」、「大分 VC サクセスファンド 6 号投資事業有限責任組合」の計 5 社を引受先とする第三者割当増資により、新たに約 10.5 億円の資金調達を実施し、セカンドクローズを完了したことをお知らせいたします。これにより、シリーズ B ラウンド ファーストクローズ 38.5 億円とあわせ、シリーズ B ラウンド総額 49 億円の資金調達を実施いたしました。今回の資金調達により、これまでの累計資金調達額は約 82.5 億円となります。

**■資金調達の背景及び目的**

QPS 研究所は従来の SAR 衛星の 20 分の 1 の質量、100 分の 1 のコストで 100 kg 級高精細小型 SAR 衛星の開発に成功し、夜間や天候不良時でも高分解能・高画質で観測できる SAR 画像を提供しています。今後は衛星を毎年複数機打ち上げ、2025 年以降を目標に 36 機の小型 SAR 衛星のコンステレーションを構築し、平均 10 分ごとの準リアルタイム地上観測データサービスの提供を目指しています。このプロジェクトの早期実現に向けシリーズ B 資金調達に至りました。今回のセカンドクローズで調達した約 10.5 億円は、ファーストクローズの 38.5 億円に続き、今年打ち上げ予定の衛星 3 号機~6 号機、また 7 号機以降の開発・運用の資金として使用する予定です。



**■シリーズ B ラウンド ファーストクローズについて**

公式サイト URL: <https://i-qps.net/news/652>

プレス関係の方のお問い合わせ先  
株式会社QPS研究所 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-15-35 レンゴー福岡天神ビル 6階  
担当名:有吉 Email: [y.ariyoshi@i-qps.com](mailto:y.ariyoshi@i-qps.com)